



窪町だより

窪町小学校令和3年度6月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

子どもの思考

主幹教諭 古谷 恵子

先日、「SDGsについて知ろう」という学習を行いました。SDGsとは、持続可能な社会にするために世界が決めた開発目標です。持続可能な開発目標とは、「人間が地球でずっと暮らしていけるような世界をつくるための目標」のことです。

SDGsという言葉については、知っている子どももいれば、知らない子どももいました。17の目標について話をしていくと、自分が知っていることを話したい子どもがいろいろと発表し始めました。学習を進めていく中で、子どもから「なぜ木がないといけないの。」と質問がありました。「木は二酸化炭素を酸素に変えてくれるから、木がなくなると二酸化炭素ばかりになってしまって人間は生きられなくなっちゃう。」「木がなくなると動物の餌がなくなっちゃう。」など、子どもたちは自分の考えを次々と発表しました。教師が、「山に餌がなく、山から熊などの動物が村に降りてきて畑のものを食べてしまうことがある。」ことなどを話すと、子どもたちは木の大切さを感じていたようです。授業が終わった後、ある子どもが私のところに来て「私ね、熊さんたちのためにどんぐり拾うのやめたの。私が、どんぐりを拾っちゃうと熊さんたちの餌がなくなって困っちゃうでしょ。だからやめたんだよ。」と話してくれました。この時、子どもの思考(思考過程)は凄いなと感心させられました。

子どもたちは、日々の学習を通してあることにたどりつくために、必ず思考しています。子どもたちの思考は素晴らしいものです。これからも、子どもたちの思考(思考過程)を大切にしていきたいと思います。子どもたちが自分で考え、新しいものを創ることができたり、新しいことを提案したりできるように指導していきたいと思います。



セーフティ教室について

(生活指導主任 浜崎 秀教)

今年度も各教室において、6/14(月)～6/18(金)の期間でセーフティ教室を実施します。ねらいは、子どもたちの「自分の身は自分で守る」という意識の向上と犯罪被害防止のための知識・理解の増進、非行・犯罪防止教育の推進を図る、というものです。

各クラスともスマートフォン、ゲーム等によるネット犯罪防止のための授業を行い、子どもたち一人ひとりが深く考えられるよう指導していきます。

水泳指導について

(水泳指導担当 工藤 輝)

水泳指導におけるガイドラインや児童数、プール施設の規模、指導体制を考慮し本年度については、区が水泳指導の実施を認めた場合、安全学習に重点を置き、水難事故防止の観点と水中での身体感覚の体験を目的として実施をする予定です。また、感染症予防のため十分な距離をとった安全な指導を検討した結果、クラス毎に1.2.3年生は一学期中に一回、4.5.6年生は夏期休業日中に水泳指導を一回、合計27学級に対して実施する予定です。

本年度が実施できない場合2年間水中感覚を体験できないこととなります。また昨年、幼児や児童の水難事故による死亡事故の報告が少なくありません。今年度は、5月の連休前後に水難事故が相次いで発生しました。児童に、水中での身体感覚などを体験させ、水難事故につながらないようにすることを今年度の水泳指導のねらいとして、短時間ではありますが実施いたします。指導にあたり、ご家庭でも健康チェックなどご協力いただくことがありますので、ご理解と、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、水泳指導の実施、中止については、区の方針が決まり次第、お便りを配布いたします。

防災体験デー 総合的な学習の時間

(4年担任 橋爪 純子)

5月21日(金)は、防災体験デーでした。

防災宿泊体験は中止となりましたが、総合的な学習で防災学習の一環として、様々な体験をしました。

初期消火体験では、「火事だー」と叫び、消火器を操作して、火を消す動作をしました。起震車体験では、震度7を体験しました。また、けがをしたときの応急処置では、止血の仕方を学習し、新聞紙でスリッパやマスクを作り、身近な物で、いろいろ工夫できることを学習しました。また、避難所生活を想定し、電気や水が使えない中での生活の大変さを想像しました。そして、学校の備蓄倉庫を見学し、災害に対する備えについて学習しました。

この学習をきっかけとし、更にこれから学習を進め、自分の命を守り、人の命を救おうとする心構えについて学ばせていきたい思います。是非、ご家庭でも「防災」について考え、自分たちの命を守る備えをしてほしいと思います。